第 受 号
8.3.30
付
公益社団法人中央畜産会

事　務　連　絡
令和８年３月30日

公益社団法人　中央畜産会
経営支援部（事業推進）部長　岡田　摩哉　様

農林水産省畜産局企画課
課長補佐（地域振興班担当）

令和７年度補正予算の畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）における環境負荷低減のクロスコンプライアンスの手続について

畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業補助金交付等要綱第39の３において、環境負荷低減に向けた取組について規定しているところです。この中で、「畜産クラスター協議会等は、収集した環境負荷低減チェックシートを保管するとともに、一覧にまとめ、事業実施主体、基金管理団体、又は都道府県を経由して地方農政局等へ提出する」こととされています。

機械導入事業については、別添のとおり、業務効率化の観点から、協議会は取組主体から提出されるチェックシートを取りまとめますが、協議会の一覧作成作業は省略し、事業実施主体で一覧を作成いただくこととします。

つきましては、各都道府県畜産協会を通じ、畜産クラスター協議会に周知をお願いいたします。

（別添）

１．事業参加申請時の手続

実施者	実施事項
取組主体	①チェックシートのすべての項目にチェック ②（見積書、カタログ等と共に）チェックシートを協議会に提出
協議会	③全取組主体の申請内容を『事業参加申請 電子申請用データ作成ファイル』で作成する ※１：②の全ての項目にチェックされていることを確認 ※２：確認できた取組主体は、『事業参加申請 電子申請用データ作成ファイルの「環境負荷低減クロスコンプライアンスチェックシート」の項目（以下「みどりクロコン」という。）に「○」を入力 ④令和８年度の事業参加申請から事業実施主体への同チェックシートの提出は不要としますが、求められた場合は提出できるよう、協議会で保管すること
畜産協会	⑤事業参加申請データ登録時に、③のみどりクロコンの項目に「○」が付されていることを確認
事業実施主体	⑥⑤でシステムに登録された申請内容を確認

２．実績報告時の手続

令和８年度要望分から、実績報告書にチェックシートを添付する必要があります。

実施者	実施事項
取組主体	①チェックシートの実施した項目にチェック ②（実績報告書と共に）チェックシートを協議会に提出
協議会	③②のチェックシートで実施しなかった項目があれば、協議会は解説書等を用いて指導の上、チェックシートを保管 ④（実績報告書と共に、）チェックシートの写しを畜産協会に提出 （実績報告書毎に畜産協会に提出）
畜産協会	⑤④を確認し、実績報告書と共に、その写しを事業実施主体に提出 （実績報告書毎に事業実施主体に提出）
事業実施主体	⑥⑤の記載内容をシステムに登録し、一覧にまとめ、農水省から求めがあった際に提出

※令和７年度事業（令和６年度補正予算）で配分を受け、事業参加承認された取組主体のみどりクロコンのチェックシートについては、令和８年７月末までに事業実施主体の指定する方法で提出するように指示願います。